



感染症週報

令和8年2月9日発行

小笠原での流行状況

第6週（2月2日から2月8日まで）



父島

感染性胃腸炎の報告が10例ありました。

母島

インフルエンザ、COVID-19の報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

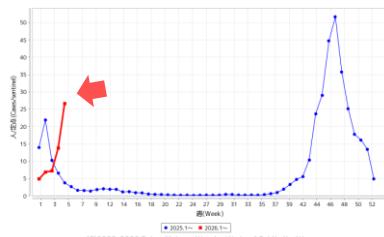
東京都全体での流行状況

第5週（1月26日～2月1日）

【警報・注意報】

- ・インフルエンザ 注意報基準越え
(定点患者報告数 26.67)

東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移



B型が多い

都内の保健所別定点当たり患者報告数(第5週)



【ピックアップ】

- ・感染性胃腸炎 村内でも出ています
(定点患者報告数 14.91↑)
- ・新型コロナウイルス感染症
(定点患者報告数 1.48↑)

感染症メモ

新型コロナ流行前のRSウイルスは、主に秋～冬に流行していました。ところが2020年は感染対策や休園等の影響で報告数が大きく減少しました。その後は、2021年以降に流行時期が夏～秋、春などへと前倒し・分散するなど、従来と異なる季節変動がみられています。年によってピークの時期が変わりやすく、乳幼児を中心に注意が必要です。今年も昨年同様、年初から報告数がやや多く推移しており、今後の動向に注目しましょう。

RSウイルス感染症について

どんな病気？

RSウイルス (Respiratory syncytial virus) による呼吸器系の感染症です。

潜伏期間は4～6日で、症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。初めて感染した場合は症状が重くなりやすいといわれており、乳幼児期、特に6か月以下でRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。終生免疫は獲得されないため、どの年齢でも再感染は起こりますが、一般的には年長児以降では重症化はしません。低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある方は重症化のリスクが高いといわれています。



どうやって感染するの？

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」が主な感染経路ですが、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

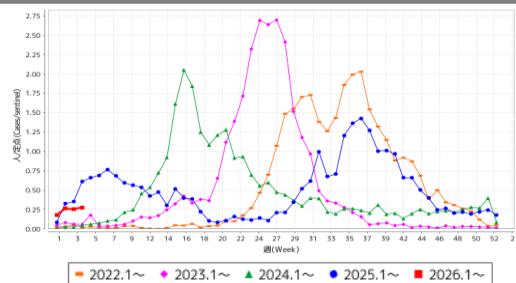
治療方法は？

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。

予防のポイント

予防接種はありません。予防には、周りの物のアルコール消毒や手洗い、咳エチケットが有効です（特定の対象者にはワクチンや抗ウイルス薬による予防法があります）。

RSウイルス感染症は多くは軽症で経過しますが、基礎疾患のある乳幼児では重症化することがあります。流行を広げないよう、基本の感染対策を心掛けましょう。



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所